

鹿児島県侵略的外来種カルテ

平成29年3月

トカラ列島（中之島、臥蛇島、諏訪之瀬島）、奄美大島、喜界島、徳之島、沖永良部島で狩猟目的で放鳥されましたが、今は放鳥されていません。県本土では在来種として生息しています。鹿児島県では重要防除種に指定されています。在来植物や小動物への影響、農作物の被害が報告されています。島嶼での侵入・定着状況に関する情報を集めています。島嶼で見かけたら、県自然保護課か市町村にご連絡下さい。

1 基本情報

分類

目・科名	キジ目キジ科	
種名(亜種名)	キジ	
学名	<i>Phasianus versicolor</i>	
環境省カテゴリー	—	
県カテゴリー	重要防除種	
由来	県内由来外来種	
侵略的外来種番付表	前頭(島嶼)	
番付表掲載の理由	県内由来外来種	
その他カテゴリー (日本生態学会ワースト100/IUCN 世界の侵略的ワースト100)	—	
侵入・定着の状況		
自然分布域	本州から九州の屋久島	
県内初報告	1971年と1972年にトカラ列島に放鳥	
県内への侵入の経緯	狩猟を目的に放鳥された	
県内の侵入分布	トカラ列島(中之島、臥蛇島、諏訪之瀬島)、奄美大島、喜界島、徳之島、沖永良部島	
全国の侵入分布	不明	
生態学的特性		
生態	食性は雑食性で、昆虫類、クモ類、軟体動物、植物の芽、葉、種子などを食べる。 平地や山地の草地、農耕地、河原、低山地などに生息し、比較的人間の活動の多い場所に生息する。	
形態	大きさは60cm～80cm。尾が長くて尖っている。オス成鳥は、顔は赤い。胸からの体の下は光沢のある緑色。背は緑色。羽から尾にかけては青灰色。メスは全身が褐色。	
繁殖形態	4～7月に草原、低木林、農耕地周辺の草むらの中に巣をつくる。1回の産卵数は6～12個。メスだけが抱卵する。23～25日で孵化する。	
生息環境	平地や山地の草地、農耕地、河原、低山地などに生息する。	
特記事項	県本土では在来種として生息しています。	

2 影響	
被害の実態・おそれ ①生態系にかかる被害 ②農林水産業への被害 ③人の生命身体への被害	①在来植物や昆虫をはじめとする小動物への影響。 ②農作物への被害。
県内で特に予想される被害	トカラ列島、奄美群島における在来植物や昆虫をはじめとする小動物への影響。農作物への被害。
被害をもたらしている要因 ①生物学的要因 ②社会的要因	①在来植物や昆虫をはじめとする小動物への影響。 ②狩猟を目的での放鳥。
3 対策	
キジとの関わり方	トカラ列島や奄美群島で狩猟目的で放鳥されましたが、今は放鳥されていません。県では島嶼での侵入・定着状況に関する情報を集めています。島嶼で見かけたら、県自然保護課か市町村にご連絡下さい。
見分け方	類似種のコウライキジのオス成鳥は、首に白い輪がある。また、ヤマドリのメスの成鳥は体に赤みがあり、飛翔時は尾が赤く、先端は白く目立っている。
見かけやすい場所・時間	主に昼間に活動する。平地や山地の草地、農耕地、河原、低山地などに生息する。
防除方法	狩猟による捕獲。
防除の取組事例	沖永良部島の知名町では、有害捕獲が進められている。
その他	—
参考資料・参考URL	Nature of Kagoshima 鹿児島県自然環境保全協会 http://www.kagoshima-nature.org/category/back-number/ 知名町 有害鳥獣類 知名町鳥獣被害防止計画 http://www.town.china.lg.jp/modules/nousei/index.php?content_id=51 真木・大西(2000)日本の野鳥590. 平凡社. 東京 日本生態学会編(2002)外来種ハンドブック. 地人書館. 東京